

看護学部／College of Nursing 教育課程の編成

(2017年度以降入学生)

教育課程の編成の特色

本学部の教育課程は、共通科目(教養分野、外国語分野)及び専門科目(専門基礎、基礎看護学、生活支援看護学、療養支援看護学、統合看護学)の授業科目区分により構成している。

(1) 共通科目

教養分野、外国語分野から構成する共通科目は、「人になれ 奉仕せよ」の校訓の下、学生が人として、また、看護専門職として成長するための土台となる科目区分であり、同区分には7つの資質(別項「教育研究上の目的、教育理念及び教育方針と目標、3つのポリシー(看護学部)」参照。)や能力等の基礎を築くために、人、環境、健康、生活、社会・地域に対する理解を深め、豊かな人間性と高い倫理観を涵養し、深い洞察力やコミュニケーション能力、問題解決能力を育む科目、科学的・論理的思考力の基礎となる科目等を教養分野、外国語分野にわたり配置している。

(2) 専門科目

専門科目は、上述の7つの資質や能力等の育成に留意しつつ、段階的な学修が進められるよう専門基礎、基礎看護学、生活支援看護学、療養支援看護学、統合看護学の5分野から構成している。

1) 専門基礎分野

専門基礎分野は、基礎看護学分野、生活支援看護学分野、療養支援看護学分野、統合看護学分野における各看護学の学修を支える科目区分であり、「人と健康・健康障害と回復の促進」と「人と環境・健康支援と社会保障制度」の2つの領域に区分した。医療の現場において求められる的確な判断力と問題解決能力の育成のためには、その基礎として、人の健康や健康障害と回復の促進についての学修が不可欠である。「人と健康・健康障害と回復の促進」は、人の健康や健康障害と回復の促進について学修するための領域であり、「身体の構造と機能」、「健康と栄養」「病理・病態学」「病態・治療学」「臨床検査」などの科目を配置した。保健・医療・福祉の連携の下、チーム医療における調整能力や看護の独自性を発揮できる能力の育成のためには、人の健康と発達に関わる社会環境や健康支援と社会保障制度についての学修が不可欠である。「人と環境・健康支援と社会保障制度」は、人の健康と発達に関わる社会環境や健康支援と社会保障制度について学修するための領域であり、「生涯発達学」「対人関係論」「社会保障制度」「保健福祉行政論」「公衆衛生」などの科目を配置している。

2) 基礎看護学分野

基礎看護学分野は、看護学の学修の導入あるいは基盤となる分野であり、生活支援看護学分野、療養支援看護学分野、統合看護学分野に共通する看護の基礎を学修する科目区分である。上述の7つの資質や能力等のうち、自己理解と他者理解、間主観的相互作用に基づくケアリングの育成や、看護実践経験とリフレクションによる看護実践知の修得、そして医療の現場において求められる的確な判断力と問題解決能力の育成等に繋がる看護学を学修する分野である。この基礎看護学分野においては、自己理解・他者理解に基づく援助関係、看護の対象者を生活者として捉える視点、総合的な判断に基づく対象者のニーズのアセスメント、基本的なニーズを満たすための援助方法等を学修するための科目を配置している。

3) 生活支援看護学分野

生活支援看護学分野は、専門基礎と基礎看護学の各分野における学修を基盤として、保健、医療、福祉の現場において対象を生活者として捉えた看護の展開を学修する科目区分であり、対象の特徴に応じた看護を学修できるよう、「母性看護学」「小児看護学」「老年看護学」「精神看護学」「在宅看護学」の5つの看護学領域に区分した。上述の7つの資質や能力等を育成するための主要分野であり、人々の生命の尊厳と権利を擁護できる豊かな人間性と高い倫理観の涵養や、看護実践経験とリフレクションによる看護実践知の修得、そして医療・福祉の現場において求められる的確な判断力と問題解決能力等の育成が図られるよう、各看護学領域に関係の専門科目を配置している。

生活支援看護学分野では、各看護学の理論的知識と技術及び実践知の修得のために、それぞれの領域に講義・演習・実習を配置しており、臨地実習では、学内の講義・演習で学んだ理論的な知識と技術を看護実践の場面に適用し、看護の理論と実践を結びつけた学修を行う。さらに、その看護実践の展開過程の振り返りと評価を通して、より実践的な知識や技術、態度を学修する。また、保健・医療・福祉の連携の下、チーム医療における調整能力や看護の独自性を発揮できる能力の育成のため、各看護学領域の臨地実習において、チーム医療の一員としての役割や多職種連携協働における看護の役割について学修する。

4) 療養支援看護学分野

療養支援看護学分野は、専門基礎、基礎看護学、生活支援看護学の各分野における学修を基盤として、医療機関において健康障害を持ちながら療養生活を送る対象を中心とした看護の展開を学修する科目区分である。発達課題として成人期から老年期への移行期にある人の健康から健康障害を含めた対象への看護を、急性期から慢性期そして地域連携を見越した場における対象理解に基づいて学修する分野として配置した。上述の7つの資質や能力等のなかでも、特に人々の生命の尊厳と権利を擁護できる豊かな人間性と高い倫理観の涵養やケアリング能力の育成を基盤とした、医療の現場において求められる的確な判断力と問題解決能力育成を目指している。そのために、概論・問題解決過程を軸とした援助論・演習での学びを経て、最終的に成人看護学実習を通して統合的に学習できるように各科目を配置している。看護実践の振り返りを通して、自己理解や他者理解、実践評価を深めることで看護実践知の修得や専門職としての自己研鑽能力育成を図っている。また、保健・医療・福祉の連携の下、チーム医療における調整能力や看護の独自性を発揮できる能力の育成のため、臨地実習において、チーム医療の一員としての役割や多職種連携協働における看護の役割について学修する。

5) 統合看護学分野

統合看護学分野は、専門基礎、基礎看護学、生活支援看護学、療養支援看護学の各分野で学んだ知識と技術を統合し、看護実践及び研究への志向性を高めるための科目区分である。「看護の統合と実践Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「家族看護学Ⅰ・Ⅱ」「地域看護学概論」「災害看護学」「研究方法論」などの科目を配置している。保健・医療・福祉の現場において適切な看護ケアを提供できる看護実践能力とチーム医療における調整能力等を身に付けるために求められる上述の7つの資質や能力等の育成の仕上げとしての分野である。

看護学部教育課程の構成及び履修順序

【2017年度以降入学生用】

- 必修科目は、科目名を太字ゴシックに、単位数を○数字で記載しています。
- 選択必修科目は、*1～*5で記載しています。
*1、*2、*4、*5は、それぞれの数字の中から1科目選択
*3の「KGUかながわ学」「地域創生特論」「かながわ学」は、22科目の中から2単位選択
- 語学は、同一言語から6科目6単位必修
- 複数年次配当科目は、上級年次においては単位数を（ ）で記載
- 「KGUキャリアデザイン入門」は、登録必須科目

科目区分	1年次				2年次					
	春学期		秋学期		春学期		秋学期			
	授業科目の名称	単位	授業科目の名称	単位	授業科目の名称	単位	授業科目の名称	単位		
共通科目	キリスト教学	②	心理学(1・2年次)	②			心理学(1・2年次)	②		
	コンピュータ・リテラシー	②	倫理学(1・2年次)	②			倫理学(1・2年次)	②		
	生物学	②								
	*1 哲学(1・2年次)	2	*1 文化人類学(1・2年次)	2	*1 哲学(1・2年次)	(2)	*1 文化人類学(1・2年次)	(2)		
	*1 ジェンダー論(1・2年次)	2	*1 教育学(1・2年次)	2	*1 ジェンダー論(1・2年次)	(2)	*1 教育学(1・2年次)	(2)		
	*2 日本国憲法(1・2年次)	2	*2 法と社会生活(1・2年次)	2	*2 日本国憲法(1・2年次)	(2)	*2 法と社会生活(1・2年次)	(2)		
	*2 経済学(1・2年次)	2	*2 経営学(1・2年次)	2	*2 経済学(1・2年次)	(2)	*2 経営学(1・2年次)	(2)		
			*2 社会学(1・2年次)	2			*2 社会学(1・2年次)	(2)		
	*3 KGUかながわ学(1・2・3・4年次)	2	*3 KGUかながわ学(1・2・3・4年次)	2	*3 KGUかながわ学(1・2・3・4年次)	(2)	*3 KGUかながわ学(1・2・3・4年次)	(2)		
	*3 地域創生特論(1・2・3・4年次)	1	*3 地域創生特論(1・2・3・4年次)	1	*3 地域創生特論(1・2・3・4年次)	(1)	*3 地域創生特論(1・2・3・4年次)	(1)		
			*3 かながわ学(1・2・3・4年次)	2			*3 かながわ学(1・2・3・4年次)	(2)		
	生物と環境	2	数値データ処理	2	美術史(1・2年次)	(2)	文学(1・2年次)	(2)		
	化学基礎	2	文学(1・2年次)	2			科学史(1・2年次)	(2)		
	美術史(1・2年次)	2	科学史(1・2年次)	2						
	健康スポーツ I	1	健康スポーツ II	1						
KGUキャリアデザイン入門	2	KGUキャリアデザイン基礎 I	2	KGUキャリアデザイン基礎 II(2・3年次)	2					
				KGUキャリアデザイン応用 I(2・3・4年次)	2					
外国語分野	英語 I (初級)	1	英語 I (中級)	1	英語 III (上級 1)	1	英語 IV (上級 2)	1		
	英語 II (初級)	1	英語 II (中級)	1						
	ドイツ語 I (初級)	1	ドイツ語 I (中級)	1	ドイツ語 III (上級 1)	1	ドイツ語 IV (上級 2)	1		
	ドイツ語 II (初級)	1	ドイツ語 II (中級)	1						
	中国語 I (初級)	1	中国語 I (中級)	1	中国語 III (上級 1)	1	中国語 IV (上級 2)	1		
	中国語 II (初級)	1	中国語 II (中級)	1						
	ハンブル I (初級)	1	ハンブル I (中級)	1	ハンブル III (上級 1)	1	ハンブル IV (上級 2)	1		
	ハンブル II (初級)	1	ハンブル II (中級)	1						
海外語学演習 (英語 他) (1・2・3・4年次)	2	海外語学演習 (英語 他) (1・2・3・4年次)	2	海外語学演習 (英語 他) (1・2・3・4年次)	(2)	海外語学演習 (英語 他) (1・2・3・4年次)	(2)			
専門基礎科目	人と健康・健康障害 と回復の促進	身体の構造と機能 I	②	身体の構造と機能 II	②	薬と生体反応(臨床薬理学)	①	病態・治療学 II	②	
				生化学	①	健康と栄養	①	病態・治療学 III	①	
	人と環境・健康支 と社会援保障制度	生涯発達学	①	保健福祉行政論	①	病態・治療学 I	①	精神病態・治療学	①	
		対人関係論	①			小児病態・治療学	①			
		社会保障制度	①							
	基礎看護学	基礎看護学	看護の基礎	①	看護原論	①	基礎看護技術 II	①	基礎看護技術 III	①
			生活と看護	①	基礎看護技術 I	②	フィジカルアセスメント	①	基礎看護学実習 II	②
		環境と看護	①	基礎看護学実習 I	①	看護過程	①			
		生活支援看護学	母性看護学		母性看護学概論	①			母性看護学援助論	②
			小児看護学		小児看護学概論	①	小児看護学援助論 I	①	小児看護学援助論 II	①
老年看護学						老年看護学概論	①	老年看護学援助論	②	
精神看護学						精神看護学概論	①	精神看護学援助論	②	
在宅看護学								在宅看護学概論	①	
療養支援看護学		成人看護学				成人看護学概論	①	急性期看護学援助論 急性期看護学演習	① ①	
統合看護学		看護学の 統合と実践	看護の統合と実践 I (KGUナースへの道しるべ)	①	家族看護学 I	①	地域看護学概論	①	家族看護学 II	①

科目区分		3年次				4年次				
		春学期		秋学期		春学期		秋学期		
		授業科目の名称		単位	授業科目の名称		単位	授業科目の名称		単位
共通科目	教養分野	*3 KGUかながわ学(1・2・3・4年次) *3 地域創生特論(1・2・3・4年次) KGUキャリアデザイン基礎II(2・3年次) KGUキャリアデザイン応用I(2・3・4年次) KGUインターンシップI(事前指導)	(2) (1) (2) (2) 1	*3 KGUかながわ学(1・2・3・4年次) *3 地域創生特論(1・2・3・4年次) *3 かながわ学(1・2・3・4年次) KGUインターンシップII(実習)	(2) (1) (2) 1	*3 KGUかながわ学(1・2・3・4年次) *3 地域創生特論(1・2・3・4年次) KGUキャリアデザイン応用I(2・3・4年次)	(2) (1) (2)	*3 KGUかながわ学(1・2・3・4年次) *3 地域創生特論(1・2・3・4年次) *3 かながわ学(1・2・3・4年次)	(2) (1) (2)	
	外国語分野	海外語学演習(英語 他) (1・2・3・4年次)	(2)	海外語学演習(英語 他) (1・2・3・4年次)	(2)	海外語学演習(英語 他) (1・2・3・4年次)	(2)	海外語学演習(英語 他) (1・2・3・4年次)	(2)	
専門科目	専門基礎	人と健康・健康障害								
		人と環境・健康支援								
	基礎看護学	基礎看護学								
	生活支援看護学	母性看護学	母性看護学演習	①	母性看護学実習	②				
		小児看護学	小児看護学演習 小児看護学実習I	① ①	小児看護学実習II	①				
		老年看護学	老年看護学演習 老年看護学実習I	① ②	老年看護学実習II	②				
		精神看護学	精神看護学演習 精神看護学実習I	① ①	精神看護学実習II	①				
		在宅看護学	在宅看護学援助論I	①	在宅看護学実習I	①	在宅看護学援助論II 在宅看護学演習 在宅看護学実習II	① ① ①		
	療養支援看護学	成人看護学	慢性期看護学援助論 慢性期看護学演習 成人看護学実践論	① ① ①	成人看護学実習I(慢性期)	③	成人看護学実習II 成人看護学実習III(周手術期)	① ②		
	統合看護学	看護学の統合と実践	感染看護学	①			看護の統合と実践II (強化コース・論文講読)	①		
保健医療福祉連携			1			看護の統合と実践III(強化コース・看護実習)(通年)		②		
						研究方法論	①	災害看護学 *5 国際看護論学 *5 看護マネジメント *5 看護教育学	① 1 1 1	
						看護研究(通年)			②	

看護学部／College of Nursing 教育課程の編成

(2016年度以前入学生)

教育課程の編成の特色

本学部の教育課程は、共通科目（教養分野、外国語分野、保健体育分野、その他分野）及び専門科目（専門基礎、看護の基礎、看護の展開、看護学の統合と実践）の授業科目区分により構成している。

(1) 共通科目

教養分野、外国語分野、保健体育分野及びその他分野から構成する共通科目は、「人になれ 奉仕せよ」の校訓の下、学生が人として、また、看護専門職として成長するための土台となる科目区分であり、同区分には7つの資質（別項「教育研究上の目的、教育理念及び教育方針と目標、3つのポリシー（看護学部）」参照。）や能力等の基礎を築くために、人、環境、健康、生活、社会・地域に対する理解を深め、豊かな人間性と高い倫理観を涵養し、深い洞察力やコミュニケーション能力、問題解決能力を育む科目、科学的・論理的思考力の基礎となる科目等を教養分野、外国語分野、保健体育分野及びその他分野にわたり、科目を配置している。

(2) 専門科目

専門科目は、上述の7つの資質や能力等の育成に留意しつつ、段階的な学修が進められるよう専門基礎、看護の基礎、看護の展開、看護学の統合と実践の4分野から構成している。

1) 専門基礎分野

専門基礎分野は、看護の基礎分野、看護の展開分野、看護学の統合と実践分野における各看護学の学修を支える科目区分であり、「人と健康・健康障害と回復の促進」と「人と環境・健康支援と社会保障制度」の2つの領域に区分した。医療の現場において求められる的確な判断力と問題解決能力の育成のためには、その基礎として、人の健康や健康障害と回復の促進についての学修が不可欠である。「人と健康・健康障害と回復の促進」は、人の健康や健康障害と回復の促進について学修するための領域であり、「身体の構造と機能」、「健康と栄養」、「病理・病態学」、「疾病と治療」、「フィジカルアセスメント」などの科目を配置した。保健・医療・福祉の連携の下、チーム医療における調整能力や看護の独自性を発揮できる能力の育成のためには、人の健康と発達に関わる社会環境や健康支援と社会保障制度についての学修が不可欠である。「人と環境・健康支援と社会保障制度」は、人の健康と発達に関わる社会環境や健康支援と社会保障制度について学修するための領域であり、「健康論」、「生涯発達学」、「社会保障制度」、「保健福祉行政論」、「公衆衛生」などの科目を配置している。

2) 看護の基礎分野

看護の基礎分野は、看護学の学修の導入あるいは基盤となる分野であり、看護の展開及び看護学の統合と実践の各分野に共通する看護の基礎を学修する科目区分であるが、同時に生活支援看護学という看護領域として位置付けられる。上述の7つの資質や能力等のうち、自己理解と他者理解、間主観的相互作用に基づくケアリングの育成や、看護実践経験とリフレクションによる看護実践知の修得、そして医療の現場において求められる的確な判断力と問題解決能力の育成等に繋がる看護学の学修として、看護の基礎分野においては、自己理解・他者理解に基づく援助関係、看護の対象者を生活者として捉える視点、総合的な判断に基づく対象者のニーズのアセスメント、基本的なニ

ーズを満たすための援助方法等を学修する。

3) 看護の展開分野

看護の展開分野は、専門基礎分野と看護の基礎分野における学修を基盤として、保健、医療、福祉の現場における看護の展開を学修する科目区分であり、対象の特徴に応じた看護を学修できるよう、①「療養支援看護学」、②「老年看護学」、③「小児看護学」、④「母性看護学」、⑤「精神看護学」の5つの看護学領域に区分した。上述の7つの資質や能力等を育成するための主要分野であり、人々の生命の尊厳と権利を擁護できる豊かな人間性と高い倫理観の涵養や、看護実践経験とリフレクションによる看護実践知の修得、そして医療の現場において求められる的確な判断力と問題解決能力等の育成が図られるよう、各看護学領域に関係の専門科目を配置している。

看護の展開分野では、各看護学の理論的知識と技術及び実践知の修得のために、それぞれの領域には、講義・演習・実習を配置しており、臨地実習では、学内の講義・演習で学んだ理論的な知識と技術を看護実践の場面に適用し、看護の理論と実践を結びつけた看護の展開を学修する。さらに、その看護実践の展開過程の振り返りと評価を通して、より実践的な知識や技術、態度を学修する。また、保健・医療・福祉の連携の下、チーム医療における調整能力や看護の独自性を発揮できる能力の育成のため、各看護学領域の臨地実習において、チーム医療の一員としての役割や多職種連携協働における看護の役割について学修する。

4) 看護学の統合と実践分野

看護学の統合と実践分野は、専門基礎、看護の基礎及び看護の展開の各分野で学んだ知識と技術を統合し、看護実践及び研究への志向性を高めるための科目区分であり、①「在宅看護学」、②「看護学の発展と探求」の2つの領域に区分している。保健・医療・福祉の現場において適切な看護ケアを提供できる看護実践能力とチーム医療における調整能力等を身に付けるために求められる上述の7つの資質や能力等の育成の仕上げとしての分野である。

看護学部教育課程の構成及び履修順序

【2016年度以前入学生用】

1. 必修科目は、科目名を太字ゴシックに、単位数を○数字で記載しています。
2. 複数年次配当科目は、上級年次においては、単位数を()で記載しています。

科目区分	1年次				2年次				
	春学期	単位	秋学期	単位	春学期	単位	秋学期	単位	
	授業科目の名称		授業科目の名称		授業科目の名称		授業科目の名称		
共通科目	教養分野	キリスト教学	②	倫理学(1・2年次)	2	哲学(1・2年次)	(2)	倫理学(1・2年次)	(2)
		哲学(1・2年次)	2	心理学(1・2年次)	2	ジェンダー論(1・2年次)	(2)	心理学(1・2年次)	(2)
		ジェンダー論(1・2年次)	2	文学(1・2年次)	2	美術史(1・2年次)	(2)	文学(1・2年次)	(2)
		美術史(1・2年次)	2	文化人類学(1・2年次)	2	経済学(1・2年次)	(2)	文化人類学(1・2年次)	(2)
		経済学(1・2年次)	2	教育学(1・2年次)	2	日本国憲法(1・2年次)	(2)	教育学(1・2年次)	(2)
		日本国憲法(1・2年次)	2	経営学(1・2年次)	2	KGUキャリアデザイン基礎Ⅱ	2	経営学(1・2年次)	(2)
		生物と環境	2	社会学(1・2年次)	2	KGUキャリアデザイン応用Ⅰ	2	社会学(1・2年次)	(2)
		生物学	2	法と社会生活(1・2年次)	2			法と社会生活(1・2年次)	(2)
		化学基礎	2	科学史(1・2年次)	2			科学史(1・2年次)	(2)
		コンピュータリテラシー	②	数値データ処理	2				
KGUキャリアデザイン入門	2	KGUキャリアデザイン基礎Ⅰ	2						
外国語分野	英語(リーディング)ⅠA	①	英語(リーディング)ⅠB	①	ドイツ語ⅢA(2・3・4年次)	1	ドイツ語ⅢB(2・3・4年次)	1	
	英語(オーラル)ⅠA	①	英語(オーラル)ⅠB	①					
	ドイツ語ⅠA	1	ドイツ語ⅠB	1					
	ドイツ語ⅡA	1	ドイツ語ⅡB	1					
	中国語ⅠA	1	中国語ⅠB	1					
	中国語ⅡA	1	中国語ⅡB	1					
	ハンブルⅠA	1	ハンブルⅠB	1					
	ハンブルⅡA	1	ハンブルⅡB	1					
	健康スポーツⅠ	1	健康スポーツⅡ	1					
	海外語学演習(英語 他)	2	海外語学演習(英語 他)	2	海外語学演習(英語 他)	(2)	海外語学演習(英語 他)	(2)	
KGUかながわ学	2	KGUかながわ学	2	KGUかながわ学	(2)	KGUかながわ学	(2)		
地域創生特論	1	地域創生特論	1	地域創生特論	(1)	地域創生特論	(1)		
		かながわ学	2			かながわ学	(2)		
専門基礎	人と健康・健康障害 人と回復の促進	身体の構造と機能Ⅰ	①	身体の構造と機能Ⅱ	①	薬と生体反応(臨床薬理学)	①	疾病と治療ⅠB(内科的治療)	①
				身体の構造と機能Ⅲ	①	健康と栄養	①	疾病と治療ⅡB(外科的治療)	①
	人と社会 環境・健康支援	健康論	①	生化学	①	病理・病態学	①	疾病と治療Ⅲ(小児)	①
				感染と免疫(微生物学)	①	疾病と治療ⅠA(内科的治療)	①	臨床心理学	1
	生涯発達学 社会保障制度 公衆衛生 保健医療統計学 対人関係論 対人関係論演習					疾病と治療ⅡA(外科的治療)	①	臨床検査	1
						生涯発達学	①	保健福祉行政論	①
	生活支援 看護学	看護の知への誘い	①	看護理論Ⅰ	①	基礎看護技術Ⅱ	②	看護過程論	①
		ひとと環境	①	基礎看護学方法論	①	生活援助実習Ⅰ	①	基礎看護技術Ⅲ	②
	療養支援 看護学	ひとと生活	①	基礎看護技術Ⅰ	①			生活援助実習Ⅱ	①
				初期体験実習	①				
看護の展開	成人看護学概論						成人看護学概論	①	
	慢性期看護論Ⅰ						慢性期看護論Ⅰ	①	
	治療回復看護論Ⅰ						治療回復看護論Ⅰ	①	
	老年看護学概論					①	老年看護学援助論Ⅰ	①	
	老年看護学実習Ⅰ						老年看護学実習Ⅰ	①	
小児看護学概論						小児看護学概論	①		
母性看護学概論						母性看護学概論	①		
精神看護学概論						精神看護学概論	①		
看護学の統合と実践	在宅看護学					①	地域看護学概論		
	看護学の発展と探求					①	感染看護学	1	

科目区分	3年次				4年次					
	春学期		秋学期		春学期		秋学期			
	授業科目の名称		授業科目の名称		授業科目の名称		授業科目の名称			
共通科目	教養分野	KGUキャリアデザイン基礎Ⅱ	(2)	KGUインターンシップⅡ(実習)	1	KGUキャリアデザイン応用Ⅰ	(2)			
		KGUキャリアデザイン応用Ⅰ	(2)							
		KGUインターンシップⅠ(事前指導)	1							
	外国語分野	ドイツ語ⅢA(2・3・4年次)	(1)	ドイツ語ⅢB(2・3・4年次)	(1)	ドイツ語ⅢA(2・3・4年次)	(1)	ドイツ語ⅢB(2・3・4年次)	(1)	
保体										
その他	海外語学演習(英語 他)	(2)	海外語学演習(英語 他)	(2)	海外語学演習(英語 他)	(2)	海外語学演習(英語 他)	(2)		
	KGUかながわ学 地域創生特論	(2) (1)	KGUかながわ学 地域創生特論 かながわ学	(2) (1) (2)	KGUかながわ学 地域創生特論	(2) (1)	KGUかながわ学 地域創生特論 かながわ学	(2) (1) (2)		
専門科目	専門基礎	人と健康・健康障害 疾病と治療Ⅳ(精神) フィジカルアセスメント	① ①							
		人と環境・健康支援 医療安全学	1							
	看護の基礎	生活支援 看護学								
	看護の展開	療養支援 看護学	慢性期看護論Ⅱ 治療回復看護論Ⅱ 成人看護学演習 成人看護学実習Ⅰ	① ① ① ①	成人看護学実習Ⅱ	③	成人看護学実習Ⅲ クリティカルケア看護論 緩和ケア看護論	② 1 1		
		看護学 老年	老年看護学援助論Ⅱ 老年看護学演習 老年看護学実習Ⅱ	① ① ①	老年看護学実習Ⅲ	②				
		看護学 小児	小児看護学援助論 小児看護学演習	② ①	小児看護学実習	②				
		看護学 母性	母性看護学援助論 母性看護学演習	② ①	母性看護学実習	②				
		看護学 精神	精神看護学援助論 精神看護学演習	② ①	精神看護学実習	②				
		看護学の統合と実践	在宅看護学	在宅看護概論	①	在宅看護実習Ⅰ	①	在宅看護援助論 在宅看護演習 在宅看護実習Ⅱ	② ① ①	
			看護学の統合と実践					統合看護実習(通年) 卒業研究(通年) 論文講読 看護研究方法論 看護理論Ⅱ 看護管理論 国際看護論 保健医療福祉連携論	② ② ① ① 1 1 1 1 1	